

一般質問



質問者
山本修三議員

空き家の適正管理について

問 管理の行き届かない

空き家や、近隣住民に支障を与えていたり老朽空き家の苦情は、どのように対処しているのか。

答 市は、管理の行き届かない空き家を管理する権利は有していないが、直接管理等を行うには、民法上の「事務管理」、災害対策基本法上の「応急措置」、間接的には、建築基準法上の「保安上危険な建築物等に対する措置」による勧告、措置命令等がある。むしろ、私有財産としての空き家に対し、公金を支出することは、市が管理権限の及ばない財産への支出となり、本来、行政には馴染まない行為であり、慎重に行う必要があると考える。

また、所有者が対策に消極的であり、空き家が



▶空き家の修繕作業（自立のまちづくり事業）

たつの市民病院のさらなる充実に向けて

問 地域に根ざした医療

を提供することにおいても、診療科目に人工透析を増設する考えはないの

地域にとつて危険と判断した場合には、老朽化した危険な空き家に対し、自治会が応急処置を実施する補助として、今年度新たに「自立のまちづくり事業（空き家対策編）」を創設したところである。

なお、抜本的な空き家対策については、4月から職員による空き家適正管理対策検討委員会を設置し、法的な観点から行政がなし得る施策の展開について、調査研究を進めている。

答 診療科目増設にかかる採算性を考慮すると、20床程度のベッド数が必要になるが、現病院内でスペース確保は困難であるため、新たな施設用地を確保し、設備機械を設置するなど多額の初期投資が必要になる。また、内科医師、臨床工学技士、看護師の増員も必要になることから、現段階では、人工透析診療科目の増設は考へていない。

問 市民病院に隣接する介護老人保健施設「ケアホームみつ」について、建物や内装など施設設備が老朽化しているが、耐震補強や改装などの考え方はあるのか。

答 診療マップ（御津地域）において、震度6、最大津波高2m、100年に1回程度起こりうる大雨を想定しているが、これによると御津町の多くの集落等が0・5m～4m水没する。この状況をどのように想えているのか。

答 災害想定に対しても、減災のためにあらゆる対策を講じていく必要があるとを考えている。なお、その対策としては、避難訓練の実施や防災行政無線などによる迅速かつ正確な情報伝達、家庭内における持ち出し品、備蓄品の事前準備、防災マップの見方と活用方法の周知徹底が必要である。

答 施設管理者である兵庫県龍野土木事務所に確認したところ、「堤防劣化の著しい個所については、モルタル注入等で補修を行っており、引き続き現地調査を行い、対策の必要な個所については、随時補修を実施する。」との回答であった。

市長の任期について

問 西田市長は11月12日をもつて任期満了となる。合併前から通算4期15年にわたって、本市発展に尽くされたのは市民にとって幸甚の限りであるが、任期満了に伴う対応について伺う。

答 市勢伸展のため、市政の方向性を預かる立場として、全身全霊をもつて事業推進に努めており、全力投球で執務に臨む中、

未だ健康チェックも出来ていない状況であり、市政担当に向けての考えま

で十分に及ばず、現時点では決意表明するまでに至っていない。



質問者
龍田 慎議員

防災について

問 市防災マップ（御津

地域）において、震度6、最大津波高2m、100年に1回程度起ころうる大雨を想定しているが、これによると御津町の多くの集落等が0・5m～4m水没する。この状況をどのように想えているのか。

答 施設管理者である兵庫県龍野土木事務所に確認したところ、「堤防劣化の著しい個所については、モルタル注入等で補修を行っており、引き続き現地調査を行い、対策の必要な個所については、随時補修を実施する。」との回答であった。

答 市勢伸展のため、市政の方向性を預かる立場として、全身全霊をもつて事業推進に努めており、全力投球で執務に臨む中、未だ健康チェックも出来ていない状況であり、市政担当に向けての考えまで十分に及ばず、現時点では決意表明するまでに至っていない。

認したといひ、「台風、高潮による水圧について

考慮して設計されている

が、津波の波力に対する構造の安定について

は、東日本大震災を受け、現在調査を進めている。」

との回答であった。本市

としても、調査結果を注視し、何らかの対策が必

要であるとの結果が出た場合には、早期に対策を

実行する。」と述べた。

答 地震発生から津波到

達まで概ね2時間あり、

迅速な避難行動により対

応が可能であるため、現

時点では避難ビル及び避

難タワーの建設について

は考へていない。なお、

津波避難ビルは、新たに

市民病院を指定すること

で現在調整中である。

答 避難ビル及び避難タワーの建設について

は考へていない。なお、

津波避難ビルは、新たに

市民病院を指定すること

で現在調整中である。

答 計画段階では、

人工透析診療科目の増設

は考へていない。

問 市民病院に隣接する

人工透析診療科目の増設

は考へていない。

問 市